

# 令和4年度学校自己評価システムシート（県立松山高等学校）

目指す学校像	建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。
--------	---

重点目標	<p>1 より良い授業を展開するとともに、生徒に「自学」の習慣を定着させることにより、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。</p> <p>2 部活動実績を一層向上させるとともに、生徒の全人的成長を支援する。また、学校行事を一層活性化し、青春を謳歌させる。</p> <p>3 本校の良さを積極的に発信し、保護者、地域、同窓会との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。</p>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p><b>【現状】</b> 直近5年間において国公立大学合格は増加傾向である。理数科、特進クラスを牽引役として全体が底上げされ、難関私立大学合格者も増加した。またコロナ禍対策としてオンライン授業も活発に行われている。</p> <p><b>【課題】</b> 入学当初には高い目標を掲げているが学年が進むにつれて妥協する生徒が少なくない。SSH等による探究の取組を学校全体に普及させ、主体的に学ぶ力を育成しモチベーションを継続させたい。</p>	<p>「自学」を続ける生徒を育成するため、コロナ禍でもICTを含め様々な方策を実施し、学びを途切れさせずに進学実績を向上させる。</p> <p>SSH事業等を核として様々な事業を通して主体的に学び続ける生徒を育成する。</p>	<p>①GoogleClassroom等を有効活用して生徒との繋がりを維持することにより学校と家庭でのシームレスな学習を充実させる。</p> <p>②自立的な学習を身に付けさせるために授業及び総合的な探究の時間において探究する場面を多用する。また「松高塾」のさらなる活性化を行う。</p> <p>③生徒個々との進路指導面談を活発に行い、高いモチベーションを維持させる。</p> <p>④保護者向け進路説明会・研修会を行い、意識啓発を行う。</p>	<p>①コロナ対策としてのオンライン授業による補完、自学による学習量。</p> <p>②自己の成長が実感できる生徒の割合。松高塾の参加者数。</p> <p>③国公立大学、難関私立大学(早慶上理 GMARCH)の合格者数。</p> <p>④保護者の進路指導に対する満足度。</p>			
2	<p><b>【現状】</b> ほとんどの生徒が規律正しい学校生活を送っている。また、3年生でも9割近くの生徒が部活動に加入しており、高い実績を上げている。その反面、一部に心に悩みを抱える生徒も見られる。</p> <p><b>【課題】</b> 登下校マナーの改善、部活動指導体制の発展、生徒相談体制の一層の充実を図る。</p>	<p>男子校としての特性を生かして学校全体での教育活動を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。</p>	<p>①計画的な登校指導や交通安全指導において全体指導と個別指導を使い分け、より効率的に規範意識や交通マナーをさらに確立させる</p> <p>②SC、SSW、特別支援コーディネーター等の外部連携を強化して生徒相談体制をさらに充実させる。</p> <p>③生徒会行事等の在り方、実施方法などを社会状況に合わせて工夫することにより、生徒の主体的行動力を育成する。</p> <p>④部活動の活動環境・内容・実施方法など、生徒のニーズに合った部活動へと進化させる。</p>	<p>①丁寧な個別指導による健全な心と規範意識の醸成。</p> <p>②外部連携による新たな視点による改善。</p> <p>③生徒主体の学校行事や地域への取組と参加状況。</p> <p>④生徒の部活動加入率、全国・関東への代表教、生徒や保護者の期待に応える活動。</p>			
3	<p><b>【現状】</b> HPの情報配信や説明会等の工夫により情報発信を積極的に行っており、入試倍率等には改善の兆しはあるが十分ではない。</p> <p><b>【課題】</b> 来年度の百周年事業の実施を踏まえて本校の魅力をさらに発信する。</p>	<p>本校の特色ある教育活動を中学生や地域に効果的にアピールして理解されるように努める。</p>	<p>①全教職員によるHP更新を可能にしてタイムリーな情報発信を行う。</p> <p>②学校説明会の在り方を見直し、内容をニーズに応えるものとする。申し込み方法も簡素化する。</p> <p>③各市や塾主催の説明会への積極的な参加、塾対象学校説明会により生徒募集を強化する。</p> <p>④生徒・保護者対象のアンケートの集計と分析により、さらに本校の魅力をアピールして選ばれる学校づくりを進める。</p>	<p>①HPのタイムリーな更新。</p> <p>②学校説明会の実施回数と参加者の満足度の向上。</p> <p>③オンラインを含む各説明会への参加状況。</p> <p>④生徒募集を活性化することによる志願状況の変化。</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	